

委員会主催研修会の報告

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
第1回災害対策研修会が開催されました。

去る、平成25年11月17日(日)神奈川近代文学館ホールにおきまして「災害対策委員会 第1回災害対策研修会」が開催されました。

(公社)神奈川県理学療法士会では甚大な被害をもたらした東日本大震災を教訓に、今後予想されている南海トラフ巨大地震や首都直下型の地震災害に限らず、その他の大規模災害に備えるべく、今年度より災害対策委員会が設置されました。

本研修会では災害時対応の第1歩として災害時リハビリテーション・災害時理学療法の役割を確認し、大規模災害時の災害対策本部に関わる組織づくりや運営について、また、わたしたち理学療法士がとるべき初動対応について士会の運営に関わる秋田会長をはじめ理事・役員・事務局がそのイメージを共有する事を目的としました。

講師には宮城県理学療法士会より後藤 博音氏(宮城県北部保健福祉事務局 健康づくり支援班)、坪田 朋子氏(仙台医健専門学校、元 宮城県理学療法士会 災害対策本部住民支援班班長)をお招きして、東日本大震災における宮城県理学療法士会がとった初動対応について、災害現場・地域におけるコーディネーションの実際と今後の課題について現地コーディネーター(後藤氏)、後方支援コーディネーター(坪田氏)の立場からお話いただきました。現地コーディネータを経験し、災害時は普段の関係がそのまま出ることを学びました。(後藤氏) 後方支援コーディネーターは現地コーディネーターのサポーター、つまり軍師となる事。そしておもてなしと感謝の気持ちを忘れない事が重要です。(坪田氏) お二方とも地域特性に合った支援活動のビジョンを明確にする大切さなど、大変興味深いお話をいただきました。

また災害対策委員会からも今年度事業の紹介と次年度の展望についてもお話しさせていただきました。

今回の参加者は会長、理事、役員、事務局を中心に約30名の方たちにご参加いただきました。「組織として普段から何を準備しておけばよいのかを考えるきっかけとなりました。」「改めて顔の見えるコミュニケーションの重要性を強く感じました。」との声が聞かれました。

今後は来年1月26日(日)に第2回災害対策研修会を開催する予定です。より多くの方々のご参加をお願い致します。

(文責:神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次)

